



真岡市  
イメージキャラクター  
コットベリー



真岡市  
イメージキャラクター  
もおかぴょん

みどころガイド  
**真岡**  
もおか



# SLのまち

## 蒸気機関車が走るまち 真岡

日本で最初の官営鉄道として明治45年に開業した真岡鐵道は、土・日・祝日に蒸気機関車が走る人気路線。SLを模した真岡駅舎やミュージアム「SLキューロク館」など、見どころ盛りだくさんです。

### 第3セクターSL通年運行日本一

真岡鐵道は、毎週SLが定期運行される全国でも数少ない路線。運行するのは、土・日・祝日と夏休み期間の金曜日。茨城県下館駅～栃木県茂木駅間を一日一往復走行しています。沿線には、四季折々の撮影スポットが数多くあり、鉄道ファンたちが腕を競っています。



春にはこんな景色も見られます！

夢とロマン！



SLキューロク館 初代館長  
湯浅 陽三 さん

### 時を経て、感動の再会！

展示されている「9600形」と「D51」には旋回窓、「スハフ44形客車」には2重窓と、雪や寒さへの工夫が凝らされています。同時代に北海道の大地を駆け抜けた3両が一堂に会する光景に胸が熱くなります。



清水昭一氏提供

北海道を走る当時のD51-146と、客車スハフ4425。同じ北の大地を走った車両が、数十年の時を越えて、真岡の地で再会を果たしました。



### スハフ4425

スハフ44は、急行列車用に作られた43系の北海道向け車両。計27両が昭和27年～29年に製造され、伝説の重連急行「ニセコ」の客車として使用されました。



通年  
運行

キューロク館  
敷地内  
運行

C12-66

49671

昭和7年～15年と昭和22年に282両が製造された車両。福島県川俣町で静態保存されていたものを平成3年に譲り受け、平成6年3月に真岡鐵道で運行を開始。今も現役で活躍する、日本で唯一のC12形です。

大正2年に1号機が誕生して以来、14年間に渡り製造。合計で770両が日本各地を走り回った、大正時代を代表する蒸気機関車のひとつ。土・日・祝日には1日3回、圧縮空気を動力に自走。その際、車掌車への乗車も可能(有料)です。



D51-146

「デゴイチ」の愛称で有名なSLの代名詞。この車両は昭和13年11月製造で、北海道の室蘭本線や函館本線で運用された経歴を誇ります。昭和50年の引退後、静岡市の城北公園に展示されていましたが、老朽化が進んだため「産業遺産としての保存・活用」が可能な譲渡先として、平成27年に真岡市へと移管されました。

## SLの走るまち拠点施設 「SLキューロク館」



真岡駅前「SLキューロク館」。その名称は、館内に展示される9600形のニックネーム「キューロク」から。太いボイラーや短い化粧煙突、二つのドームにかたどられた姿で親しまれた機関車です。これら展示車両の乗車見学や、機関士の制服での記念撮影(有料)などが楽しめる人気スポットです。



SLをモチーフにした真岡駅

【営業時間】10:00～18:00

【休館日】火曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12/29～1/3)

【住所】真岡市台町2474番地6

【電話】0285-83-9600 <http://sl-96kan.com>



## 動くキューロクの 迫力は圧巻!

汽笛を鳴らして館内を走るキューロクや、息子が大好きなデゴイチなど実車の展示が多く、運転席にも座れるのは魅力的。すぐ横に真岡鐵道の車両も走っていて息子も大興奮、また連れて来てあげたいと感じました。

ココが  
すごい!



埼玉県在住 藤田さんご家族



# 生産量日本一のいちご

## 産地だから味わえるフレッシュ感

いちご王国・栃木県の中でもトップに君臨するのが真岡市。その生産量は年間約7,000トンと日本一を誇り、栃木県で開発された人気品種「とちおとめ」や「スカイベリー」、希少な「とちひめ」などを、市内約450軒の農家が栽培しています。直売所での販売はもちろん、冬から初夏にかけて、いちご狩りも楽しめます。甘味の乗ったフレッシュな果実感は、まさに産地ならではの贅沢な味わいです。



ビニールトンネル栽培やパイプハウス栽培など試行錯誤の末に編み出されたのが、温度が一定の地下水を霧状にしてハウス内を温める「ウォーターカーテン栽培」。環境に負荷をかけず温かな状態を保ち、果実に自然な甘さを凝縮させます。

## 大好きないちごが食べ放題！

真っ赤に実った完熟いちごは、食べた瞬間に甘さと香りが口いっぱいに広がります。ゆったり時間制限なしで楽しめるし、清潔で獲りやすい高棚式栽培もあるなど、とても好印象です。

家族連れに  
オススメ！



いちご狩りは1月上旬から5月中旬まで楽しめます。お持ち帰りはできませんが、時間無制限で食べ放題です！

いちご狩り  
ならココ！



埼玉県在住 加藤さんご一家

## 井頭観光いちご園

(農産物販売交流施設いがしら「あく里っ娘」)

【営業時間】9:00～16:00

【営業期間】1月上旬～5月中旬

【住 所】真岡市上大田和3006番地

【電 話】0285-81-1141





スカイベリー  
(実物大)

## ぜひ食べたい！ 日本一いちごグルメ

いちご日本一を誇る真岡市ならではの、一風変わった!? ほかでは食べられない「ご当地限定いちごグルメ」をご紹介します。



幻のいちご  
たっぷり!

道の駅にのみや  
「とちひめジェラート」

市場に出回らず「幻のいちご」と呼ばれるとちひめのジューシーな甘さを堪能!

いちごが  
ぎっしり!



プレミアム  
いちごロールケーキ▶

いちごをふんだんに使用して、ふわふわの生地と、まろやかなクリームが絶妙です。

### ■道の駅にのみや

【営業時間】9:00～18:00  
【定休日】第3火曜(祝日の場合は翌日)  
【住所】真岡市久下田2204番地1 【電話】0285-73-1110

## いちごまつり

毎年5月中旬に二宮地区のコミュニティセンターで開催。いちご食べ放題(事前抽選)など、イベント盛りだくさん。



ご飯と  
いちご!?

### いちご飯バーガー

真岡北陵高校と真岡工業高校、市内の飲食店が共同開発したご当地グルメ。いちごの炊き込みご飯のパンズに、とちぎ和牛や地元の食材を用いたパテを挟んだオリジナルのライスバーガー。お問合せ:真岡市観光協会 TEL:0285-82-2012

早く食べて  
おいしい!



## 大迫力

### いちごのかき氷

注文を受けてから果実を絞って作るシロップと、フワリときめ細かな氷が時間差で口の中で溶ける魅惑の舌触り。市内のかき氷店で味わえます。お問合せ:真岡市観光協会 TEL:0285-82-2012



とちおとめ  
(実物大)



# 江戸の木綿問屋がこぞって求めた 絹のように滑らかな織物「真岡木綿」

良質な綿花の栽培地であり、その木綿を用いた織物「真岡木綿」の産地としても名高い真岡市。江戸時代、絹を思わせる滑らかな肌触りの織物は絶大な人気を誇り、「真岡」といえば、そのまま木綿の代名詞として通用したほど。当時、江戸の木綿問屋はこぞって真岡木綿を求め、文化・文政・天保のころには年間38万反を織り上げるほど隆盛を極めました。その後、安価な輸入糸の流通により生産が途絶えた時期もありましたが、今は真岡木綿会館を拠点に生産を再開。綿花の栽培から糸紡ぎ・染め・織りまですべて昔ながらの手作業で行っています。長年の伝統を受け継ぎつつ現代的な感性を取り入れ、和装はもちろん、日々の中で活用できるアイテムを製作・販売しています。



▲真岡木綿問屋前のにぎわい  
(金鈴荘所蔵のうちわ)



▲1957年ごろの機織り風景(広瀬氏所有)

## 真岡木綿会館 ①

真岡木綿会館では、糸紡ぎや機織りなど生産工程の見学をはじめ、機織りや染色の体験(要予約)もできます。

【開館時間】10:00~17:00  
(見学受付は16:00迄)

【入館料】無料(機織り、染色体験は有料)  
【休館日】毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)  
【住所】真岡市荒町2162番地1  
【電話】0285-83-2560(体験要予約)



機織り体験



染色体験

バリエーション  
豊富!  
真岡木綿製品



ヘアゴム



ティッシュケース

きんちゃく

トートバッグ

名刺入れ

コースター

真岡木綿印鑑入れ  
全国推奨観光土産品審査会  
民芸工芸部門 特別審査優秀賞 受賞

真岡木綿製品は、久保記念観光文化交流館 真岡市観光物産館で販売  
お問合せ:TEL.0285-82-7205

しなやかでとっても  
着心地がいいんです

# 真岡 せん

ココが  
特徴!

## 昔ながらの 伝統と技術!

全国各地に木綿織物の産地は数あれど、綿花の栽培から糸紡ぎ、機織りまで、すべての工程に一貫して携わるのが真岡木綿の特徴。使い込むほどに柔らかく肌になじむ手紡ぎ手織りの真岡木綿を、ぜひ暮らしの中に取り入れてみてください。



織姫 吉沢 知加子 さん

**真岡 着物 町まちあるき**  
 伝統の真岡もめんを身に纏い、ちょっと小粋な門前まちあるきをしませんか？

【お申込・お問合せ】  
 0285-82-2012(真岡市観光協会)

定期開催中



## 岡部記念館 金鈴荘 ②

明治初期の豪商、岡部呉服店2代目の久四郎氏が、10余年をかけ贅を凝らして建てた土蔵造り家屋。県指定有形文化財。

【開館時間】10:00~16:00  
 【入館料】無料  
 【休館日】毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)  
 【住所】真岡市荒町2096番地1  
 【電話】0285-83-2560(真岡木綿会館)

## まちのお休み処 もめん茶屋 ④

「いちご」を活用したわらび餅やあんみつなどの他、うどんやそば等和のメニューを提供しています。岡部記念館金鈴荘を利用しての食事も可能です。

【営業時間】10:00~17:00  
 【休業日】火曜日(祝日の場合は翌日)  
 【住所】真岡市荒町2165番地1  
 【電話】0285-81-7215

# 駅前～門前エリア

## 歴史ロマン薫る魅惑の街並み

古くは寺町として、大正～昭和期には料亭や芸者置屋が並ぶ花街として賑わいみせた門前地区は、今もかつての風情が薫る趣深い街並みが魅力的。最近では、レトロな建物を活かしたスタイリッシュなカフェやショップが集まるエリアとしても注目されています。

真岡まちあるきMAP  
 スマートフォン用サイト  
 スマートフォンよりアクセスしてご覧ください。



**デザインマンホール**

各地でじわじわ人気になっているデザインマンホールが真岡市内にはなんと50か所以上も!市のイメージキャラクター、コッパベリーちゃんが目印、ぜひ探してみよう。

## 久保記念観光文化交流館 ③

真岡市ゆかりの美術評論家・久保貞次郎氏が所有した、明治～大正期の歴史的建造物群「旧久保邸」をリノベーションした施設。敷地内には、「久保記念館」「美術品展示館」「観光まちづくりセンター」「観光物産館」「イタリアンレストラン・トラットリアココロ」の5つの建物が連なっています。大正12年に建てられた大谷石造りの米蔵で、池田満寿夫や瑛九など久保氏と親交の深かった画家たちの企画展が行われる「美術品展示館」や、切り絵などのワークショップも開催される明治12年建築のなまこ壁土蔵「観光まちづくりセンター」など、古き良き時代の雰囲気を感じられる空間です。

◎真岡市荒町1105番地1 ◎TEL:0285-82-2012 ◎9:00~18:00 休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

### ・久保記念館 (真岡市指定文化財)

明治40年の建築で、「日本銀行宇都宮代理店真岡出張所真岡支金庫」として使われていた建物。1Fは観光案内所となっています。

重厚感溢れる空間



### ・観光物産館

真岡木綿をはじめとする、地元の特産品や名産品を展示販売する施設で、ここでしか買えないお土産品など品数も豊富です。◎TEL:0285-82-7205

### ・美術品展示館

かつて「久保アトリエ」と呼ばれた石蔵で、久保コレクションや宇佐美コレクションなど、真岡市所蔵の美術品の企画展を行うギャラリー。

◎入館無料

### ・久保資料室

久保記念館2Fにある資料室。久保氏の残した書簡、写真、原稿など貴重な資料の展示を通じて、氏の人物像や幅広い活動が垣間見えます。

◎入館無料

### トラットリアココロ Trattoria COCORO

久保記念観光文化交流館内にあるイタリアン。ランチはパスタセットが人気。落ち着いた雰囲気の中でのディナーもおすすめ。

◎TEL:0285-84-8008  
 ◎カフェ10:30~17:00 ランチ11:30~14:00 ディナー17:00~19:30  
 ◎定休日 火曜日(終日)、水曜日(ランチ)





# まちを彩る一万本の桜

## 春の訪れを告げる真岡の桜

春の訪れとともに、真岡市内には約一万本の桜が咲き誇り、  
まちは愛らしい淡紅色の情景に包まれます。

市内に一万本以上の桜を数える真岡市は、桜の名所もそこかしこに。  
春、桜色に染まる街並みを、気のおもむくままぶらりと散策してみれば、  
その美しさに思わず足を止めてしまいたくなる。そんな見事な風景に、  
きっと出会えることでしょう。



## 一度は見ておきたい桜の名所

桜の名所が多い真岡でも、一番の賑わいを見せるが中心部を流れる行屋川の岸边。樹齢80年・約200本のソメイヨシノが咲き乱れ、隣接する城山公園や真岡小学校の桜とともに春の競演を繰り広げます。特にボンボリの灯火が川面に映える夜桜は、幻想的な美しさが一層際立ちます。



オススメ!

## 隠れ桜スポット!

久下田地区の芳全寺境内にひっそりと咲く、樹齢200年のしだれ桜は格別。浄域らしい凛とした静寂の中、鮮やかに彩られた桜が青空に映え渡る様子は、ソメイヨシノとはまた異なる趣で心に染み入ります。



真岡市在住 星操さん 岡綾さん



まちのあちらこちらで開催される人気の桜まつり。散歩がてら花を楽しむもよし、ライトアップに映える夜桜を楽しむもよし。一万本の桜が艶やかに染め上げる真岡の春を満喫しましょう。



**北真岡地域ふれあい桜まつり**  
【期間】3月下旬～4月中旬  
ボンボリ点灯  
【見所】800本のソメイヨシノ、菜の花、SL



**夜桜～Night Blossom～**  
【期間】3月下旬～4月上旬  
【場所】真岡市生涯学習館  
【見所】ライトアップされる90本のソメイヨシノ、枝垂れ桜



**桜町陣屋桜まつり**  
【期間】4月上旬～4月中旬  
ボンボリ点灯  
【場所】桜町陣屋跡  
【見所】見事な桜の古木



**行屋川桜まつり**  
【期間】3月中旬～4月中旬  
ボンボリ点灯、ライトアップ  
【場所】行屋川水辺公園  
【見所】ライトアップされる200本のソメイヨシノ



**井頭公園桜まつり**  
【期間】4月上旬  
【場所】井頭公園  
【見所】エドヒガン桜、ソメイヨシノ、河津桜、八重桜



**桜町 千本桜まつり**  
【期間】3月下旬～4月中旬  
ボンボリ点灯  
【場所】SL・桜・菜の花街道  
【見所】山車の運行、神輿の渡御



**根本山桜まつり**  
【期間】3月下旬～4月中旬  
午後6時～午後10時ボンボリ点灯  
【場所】根本山(真岡市根本)  
【見所】1,000本の桜並木



**熊倉神宮桜まつり**  
【期間】4月中旬～5月上旬  
【場所】熊倉公園  
【見所】八重桜のトンネル

## 一年中リゾート 井頭エリア

### 井頭公園 ◎真岡市下籠谷99番地 TEL:0285-83-3121

真岡市の北部、『日本の都市公園100選』にも選ばれた井頭公園は、だれもが気軽に自然と触れ合えるリゾートライクな自然公園。93.3haの広大な丘陵地には、中央に配された井頭池を囲むようにコナラ・クヌギ・アカマツなどの自然林が広がり、美しくさえずる野鳥の姿を目にすることも。季節の花々や新緑、紅葉など、訪れるたびに化する四季折々の表情にあふれる、市民憩いの公園です。

### 花と緑につつまれた井頭公園で花ウォッチング



**桜**

【見頃】4月上旬  
【場所】全域  
【本数】1,300本



**牡丹**

【見頃】5月上旬  
【場所】バラ園  
【本数】550株



**薔薇**

【見頃】5月下旬、10月下旬  
【場所】バラ園  
【本数】2,000株



**花菖蒲**

【見頃】6月中旬  
【場所】花菖蒲園  
【本数】6,000株



**梅**

【見頃】2月中旬～3月中旬  
【場所】ウメ・モモ園  
【本数】200本



### 井頭公園ローズフェスタ

バラ園では、ローズフェスタが5月中旬～6月上旬頃に開催され、様々なイベントが行われます。

### いちごの湯(真岡井頭温泉)

年間33万人が訪れる「いちごの湯」は、北関東最大級の日帰り温泉。無色透明の湯は、太古の海水が地下1,500mに閉じ込められたもの。身体が温まり保温効果にも優れると評判で、やわらかな湯に包まれると全身が心地よく解れていきます。公営のため設備や衛生面も充実しており安心の施設です。

◎真岡市下籠谷21番地  
TEL:0285-83-8822  
◎10:00～21:00  
◎休館日 毎週火曜日  
(祝日は営業)



### いちごチャットパレス

和室や洋室、バリアフリールームなども完備した近代的な公共の宿。館内3つの浴場のほか、真岡井頭温泉とも連絡通路でつながっています。

◎真岡市下籠谷41番地 TEL:0285-80-3311



「癒し」を満喫!

### 一万入プール(平成25年リニューアル)

流水プールやウォータースライダー、波のプールなど7つのプールがあり、大人から子供まで1日中楽しめます。

◎真岡市下籠谷99番地 TEL:0285-83-3121

◎開館 7月中旬～8月下旬



通称  
万プー!



# 真岡の五大夏祭り

## 真岡の夏まつり



「日本の夏祭り百選」にも選ばれた  
真岡市最大の夏祭り

毎年7月下旬の金・土・日に開催される夏の一大イベント。  
市中心部の田町北～荒町寿町の交差点に特設される「お祭り  
広場」に、本社大神輿や子ども御輿など27基の神輿、9台の山  
車屋台が一堂に会するシーンは迫力満点です。2日目には、  
かがり火が焚かれた五行川を神輿が渡る「神輿川渡御」や、  
約2万発打ち上げの「花火大会」も同時開催。最終日には、  
勇壮な神輿・山車の渡御に火と太鼓の演出を融合した  
「宮入献灯」で幕を閉じます。



勇壮な山車屋台同士の  
「ぶっつけ」も迫力満点  
の名物行事。山車屋台9基  
が向き合ってお囃子を  
競い合い、引き手などが  
提燈を振りかざし、掛け  
声をかけながらお囃子を  
盛り上げます。



大迫力

ココが  
見どころ!

### 大迫力の神輿川渡御!

神輿を担いで夜の五行川を渡る  
「川渡御」。速い流れに足を取られつ  
つ、暴れるように上流～下流を往復す  
る神輿の姿は手に汗にぎる躍動感。  
わずか数10m先の岸から照明代わ  
りに打ち上がる花火も一体となり、  
会場は熱気の渦に包まれます。



若衆連真若 二十代目会長  
鈴木 正行さん



大迫力

何と言っても見どころは2日目  
の「花火」と「神輿」とのコラボ  
レーション。レーザー光線や音  
楽に彩られた仕掛花火や、鮮  
やかなスターマインなど約2  
万発が夜空に大輪を咲かせる  
中、神輿が五行川を果敢に渡  
り抜ける様は圧巻の一言。全  
国的に珍しいこの場面を見よ  
うと、多くの人で賑わいます。

## 久下田祇園祭

7月  
下旬

大正8年に始まった歴史のあるお祭りです。旧二宮町時代からも伝統ある祭りとして受け継がれています。久下田市街地が歩行者天国となり、町会御輿や子ども御輿も繰り出し、町なかには担ぎ手の熱気が満ち溢れます。

大神輿は高さ2.5m  
とんぼの長さは7.2m  
総重量1.5トン!



## 真岡の灯ろう流し

8月  
中旬

幻想的

8月15日の夕刻、行屋川水辺公園では祖先の供養や平和への祈りを込めた約3,500基の灯ろうが、川面を穏やかに照らし上げます。川岸の遊歩道に千本灯明とかがり火が灯される幻想的な雰囲気の中、市民による唱歌や楽器演奏も行われ、辺りは厳かな雰囲気に包まれます。



## もおか木綿踊り

8月  
下旬

賑やか

8月下旬の土曜日に荒町本通りで開催され、約30組1,500名の踊り手が練り歩く「流し踊り」を披露。よさこいやヒップホップなど「創作踊り」も行われ、そのリズムに見物客の心も弾みます。

夏の思い出  
づくりにぜひ  
お越し下さい



## 尊徳夏まつり大花火大会

8月  
下旬

8月下旬、車でアクセスも便利な鬼怒川河川敷緑地公園が会場。約1万発の花火が夜空をきらびやかに彩ります。手が届きそうな至近距離で打ち上げられる尺玉は臨場感満点。納涼盆踊り大会や郷土芸能大会も催されます。



国指定文化財

# 高田山 専修寺

浄土真宗の開祖・親鸞<sup>しんらん</sup>聖人が長野の善光寺より一光三尊<sup>みえいどう</sup>仏を本尊<sup>ほんぞう</sup>に迎え、1225年に開山した名刹。創建時の建物と伝えられる総門から一直線に並ぶ楼門(1701年)と如来堂(1701年)、寄棟造りの御影堂(1659年)などの伽藍<sup>からん</sup>に加え、親鸞の高弟である真仏上人<sup>しんぶつ</sup>や顕智上人<sup>けんち</sup>の像など、数多くが国の重要文化財に指定されています。

◎真岡市高田1482番地 TEL:0285-75-0103

## 文化財



お釈迦様  
入滅のお姿  
なんです



みどころ

### 栃木県指定文化財 涅槃像

頭を北に西向き右手枕で横たわる、釈迦入滅時の姿を表す涅槃像。1702年頃の作で県の文化財。木造金箔塗り涅槃像としては日本一とされる体長3m。



### 栃木県指定文化財

みどころ

#### 一光三尊仏

中央の阿弥陀如来、右の観音菩薩と左の勢至菩薩の3仏を光背(後光)が覆う様式を一光三尊といいます。専修寺の本尊は、創建当時に親鸞聖人が毎日礼拝を重ね念仏弘法に精進したと伝えられる聖人直拝の一光三尊仏。今も秘仏として崇められ、その姿を拝めるのは17年に一度の御開扉法会のみです。



### 国指定文化財 史跡三谷草庵



専修寺から東の稲田へ通じる道を約2km行きますと、山のふところに抱かれた小庵があります。専修寺を建立中、親鸞聖人はここを仮住居として利用されていたと伝えられています。専修寺の飛び地境内として国史跡に指定されています。平成16年から18年に第1期工事として庫裏の解体修理が行われ、第2期工事として、平成22年から26年に本堂の解体修理工事が行われました。これにより、明治33年の姿に復元されました。

## 国指定文化財 大前神社(本殿・拝殿・幣殿)

奈良時代の神護景雲年中(767-769)に再建された、延喜式内の古社。祭神は大国主神(大国様)と事代主神(恵比寿様)で、関東屈指の初詣スポットとして有名。芳賀氏・稲葉氏・大久保氏等の歴代真岡城主が尊崇した。現社殿は真岡城植栽の檜を用い、元禄時代の名工櫻井瀬左衛門棟梁と彫刻師島村圓哲名人の力作。神域周遊で龍神聖獣・仙人など表現豊かな江戸芸術文化の秀作が堪能できます。

◎真岡市東郷937番地 TEL:0285-82-2509

### 大前恵比寿神社

大前恵比寿神社は平成元年12月10日に鎮座奉祝祭を斎行し完成した延喜式内大前神社の若宮社です。日本一えびす様は地元有志の方々が大前神社に御奉納下さった御神像で、大谷石造りの台座の中には社殿が鎮座しています。

◎真岡市東郷943番地 TEL:0285-84-2200



見事な  
霊獣類の  
彫刻群





## 国指定文化財

しぜさくらまちじんやあと

# 史跡桜町陣屋跡

1699年に小田原藩大久保家の分家・宇津家が知行所の桜町領に建てた役所で、その名の通り春には一面に桜が咲き誇る場所にあります。1823年に二宮尊徳が赴任し、約26年間にわたり農村復興に尽力した貴重な建物を修理・復元し公開しています。

◎真岡市物井2013番地2  
TEL:0285-75-7155



にのみやそんとく

## 二宮尊徳

二宮尊徳(金次郎)は、1787年に小田原藩(現小田原市)に生まれました。早くに両親や田畑を失うなど苦労を重ねましたが、持ち前の勤勉さで家勢を再興。その手腕が認められ、36歳の時に荒蕪していた桜町領(現真岡市)の再建を藩主から託されます。自らも農民出身である尊徳は、「私欲に走らず社会に貢献すれば自らに還える」という「報徳仕法」の教えを村人とともに実践し、見事に復興を果たしました。

## 二宮尊徳資料館

かつて薪を背負いながら本を読む校庭の銅像として知られ、多くの日本人に親しまれる二宮尊徳。その偉業を紹介する写真や映像、陣笠や脇差などゆかりの品々の展示を行っています。



◎真岡市物井2013番地2 TEL:0285-75-7155  
◎開館時間 9:00~16:30 休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日 入館料 無料



みどころ

## 桜町陣屋跡 帯戸

帯戸に書かれた尊徳の教えは、江戸の書家・不退堂聖純の直筆によるもので、報徳訓や天地自然の理などが記されています。尊徳は陣屋に弟子や村人たちを集め、これらの教えを分かりやすく説いていたと伝えられています。

## 栃木県指定天然記念物 仏生寺 けやき

ぶっしょうじ



◎真岡市南高岡259番地 TEL:0285-84-1303

日光を開山し、輪王寺や二荒山神社を建立した山岳仏教の僧・勝道上人の生誕地と伝えられ、全域が県の史跡として指定されています。境内には勝道の産湯に使ったとされる井戸跡があり、山門の両脇に立つけやきは樹齢800年、県の天然記念物です。

## 長蓮寺

ちようれんじ



開山以来、700年に渡り法灯を点し続ける古寺。1297年、時宗の祖師・一遍上人の志を継いだ真教上人が阿弥陀如来を安置し開創。1347年には領主の芳賀高貞により、城の鬼門にあたる現在地に移築されました。太鼓櫓に安置された弁財天は高さ3.5mと半跏像としては日本一。1700年に江戸民衆の浄財により建立され、浅草の浅草寺に安置されていましたが、縁あって長蓮寺に移されました。

◎真岡市荒町1037番地 TEL:0285-82-3732



みどころ

真岡市指定文化財  
べんざいてんほんかぞう  
弁財天半跏像



## まだ行っておきたい 文化財探訪

### 長沼八幡宮

真岡市長沼1083 TEL:0285-74-1787

### 莊厳寺

真岡市寺内75 TEL:0285-82-3982

### 遍照寺

真岡市中2402 TEL:0285-82-3755

### 能仁寺

真岡市根本55 TEL:0285-82-4864

### 芳全寺

真岡市久下田801 TEL:0285-74-0134

### 宗光寺

真岡市長沼698 TEL:0285-74-0196

### 海潮寺

真岡市田町2317 TEL:0285-82-2660

### 般若寺

真岡市田町1054-1 TEL:0285-82-2089

### 中村八幡宮

真岡市中560 TEL:0285-82-3085

### 久保講堂

真岡市田町1345-1 TEL:0285-83-7731

### 無量寿寺

真岡市下籠谷728 TEL:0285-82-3964

### 白蛇弁財天

真岡市久下田西2-63 TEL:0285-74-0215

首都圏から100キロ圏域、  
身近で歴史・文化の香る  
自然豊かな地域です。

# 真岡探訪 再発見の旅



- レジャー・公園
- 文化・歴史施設
- 農産物直売所
- 温泉



## 総合運動公園 子ども広場

子ども広場の大型複合遊具は、登る・すべる・くぐる・はねるなど、様々な機能を備えた複数の遊具を組み合わせた遊具です。1歳から3歳、3歳から6歳、6歳から12歳までの、3段階の年齢層にエリア分けし、それぞれの年齢にふさわしい遊具を設置することにより、幅広い年齢層の子どもたちが、無理なく安全に楽しめる遊具となっています。

【住所】真岡市小林1900  
(総合運動公園陸上競技場東側)

真岡市イメージキャラクター  
コットベリー



フルーツ系ゆるキャラ界のアイドル。コットンパパ(木綿)とストロベリーママ(いちご)のハーフ。真岡木綿(コットン)と生産量日本一のいちごをモチーフにした、かわいらしい女の子です。

真岡市イメージキャラクター  
もおかぴょん

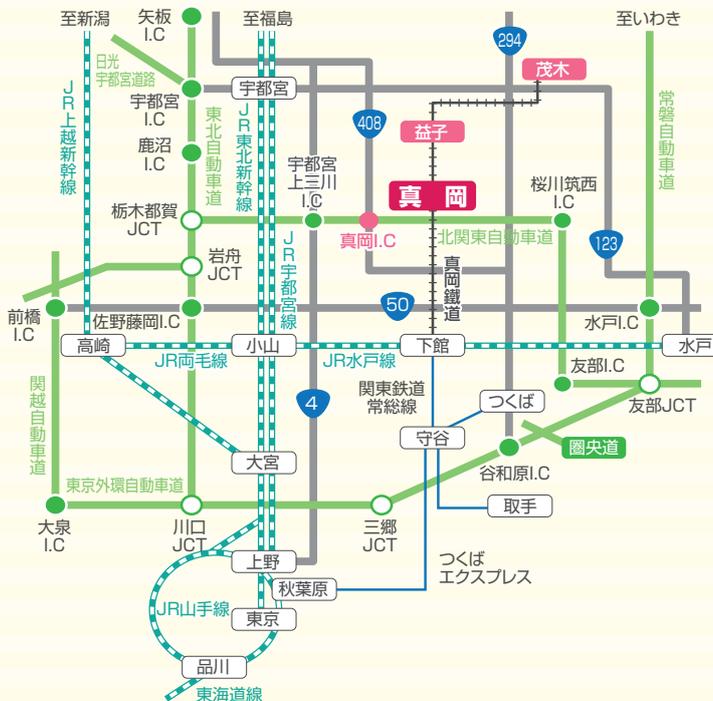


トレードマークである頭のSL、真岡木綿のように真っ白な肌、イチゴ柄のパンツ(ズボン)など、真岡市ならではの特産品等をふんだんに取り入れたキャラクター。コットベリーとは幼なじみの男の子。

もおか“いちご”チアリーダー  
春崎野乃花 (はるぎののか)



とちぎテレビのアニメ「まろに☆える」でチアリーダーを務める真岡市生まれの高校生。いちごをモチーフにしていることから、もおか“いちご”チアリーダーに就任し真岡市をPRする活動をしている。



真岡鐵道  
SLの旅

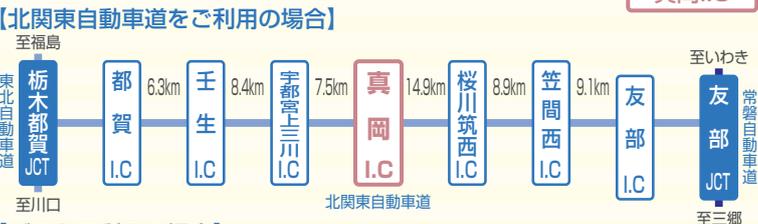
- SL 茂木 もとぎ
- 天矢場 てんやば
- 笹原田 ささはらだ
- SL 市埜 いちはな
- SL 久田羅 たたら
- SL 七井 なない
- SL 益子 ましこ

真岡鐵道 下館～茂木  
80分間のSLの旅を  
ご満喫ください



真岡市外  
真岡市内  
SL 停車駅

真岡市へのアクセス



【バスをご利用の場合】

- JR石橋駅から関東自動車「上三川経由・真岡行」乗車
- JR宇都宮駅(東口)から関東自動車「宇大循環線(左回り)行」乗車、工学部前で下車、工学部前から「西原車庫・ベルモール・真岡営業所行」乗車

真岡市内の交通手段・宿泊施設

<b>鉄道</b> 真岡鐵道 ☎0285-84-2911	<b>宿泊施設</b> 松屋旅館 ☎0285-82-3424 扇屋旅館 ☎0285-82-2555 藤屋旅館 ☎0285-82-3355 橋本旅館 ☎0285-74-0026 ビジネスホテル明月館 ☎0285-82-3832 二宮タクシー ☎0120-61-0608 真岡ビジネスホテル ☎0285-82-5590	カナイパークホテル ☎0285-84-4415 ホテルルートイン真岡 ☎0285-80-2900 ビジネスホテルエンドレス ☎0285-83-6677 井頭温泉チャットパレス ☎0285-80-3311 ビジネスホテルホワイトハウス ☎0285-83-1595
<b>バス</b> 関東バス ☎028-634-8131		
<b>タクシー</b> 芳南交通 ☎0285-84-2235 潮田タクシー ☎0285-83-3388 二宮タクシー ☎0120-61-0608		
<b>レンタサイクル</b> 真岡駅 5台(2時間400円・1日800円) ☎0285-84-2911	久保記念観光文化交流館 5台(1時間200円・1日800円) ☎0285-82-2012	
<b>レンタカー</b> トヨタレンタカー ☎0285-83-4000	オリックスレンタカー ☎0285-83-9551	

真岡市

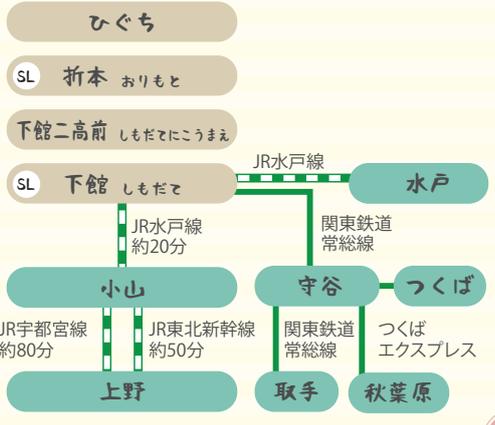
真岡駅から行く  
真岡木綿と歴史探訪コース

真岡駅	真岡駅
徒歩15分	徒歩10分
般若寺	海潮寺
徒歩5分	徒歩30分
長蓮寺	大前神社
徒歩1分	徒歩25分

久保記念観光文化交流館  
真岡木綿会館・用部記念館「金鈴荘」

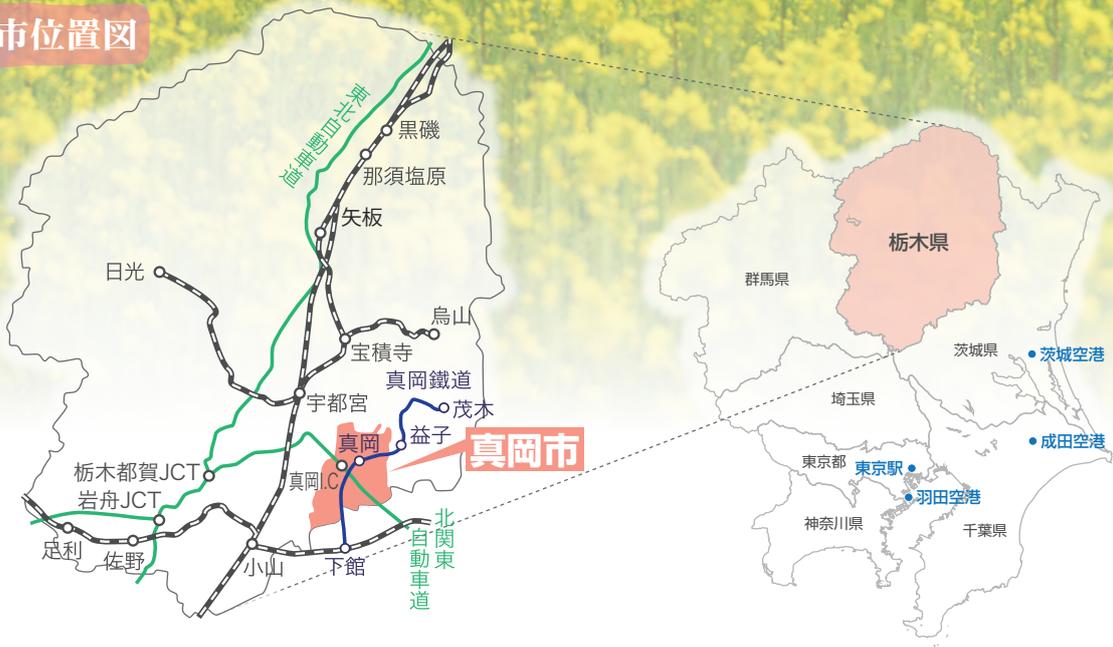
久下田駅から行く  
尊徳ゆかりの里  
史跡散策コース

久下田駅	久下田駅
徒歩80分	徒歩80分
高田山 寺修寺	桜町陣屋跡 尊徳資料館
徒歩15分	





## 真岡市位置図



### 真岡の「春」 ~Spring of Moka~



You Tubeにて動画公開中



### 真岡の「夏」 ~Summer of Moka~



You Tubeにて動画公開中



### 真岡の「秋」 ~Autumn of Moka~



You Tubeにて動画公開中



### 真岡の「冬」 ~Winter of Moka~



You Tubeにて動画公開中

## 真岡市

真岡市商工観光課観光係  
〒321-4395 栃木県真岡市荒町5191番地  
TEL.0285-83-8135 FAX.0285-83-0199  
<http://www.city.moka.tochigi.jp>  
E-mail [syoukou@city.moka.lg.jp](mailto:syoukou@city.moka.lg.jp)



真岡市観光協会  
〒321-4305 栃木県真岡市荒町1105番地1  
TEL.0285-82-2012 FAX.0285-82-2012  
<http://www.moka-kankou.org>  
E-mail [kyoukai@moka-kankou.org](mailto:kyoukai@moka-kankou.org)

